

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校
プロジェクト通信



令和3年7月5日
NO.3 文責 河村

キャリア

体育館で認知症サポーター講座を実施しました！

6月18日（金）に、5年生の児童を対象に、『地域包括支援センター帯広けいせい苑』から4人の講師の方々が来てくださいました。例年、豊成小学校にお越しいただき、「認知症サポーター小学生養成講座」を開催してくださっています。

本講座から子どもたちは、①年をとるとどうなるの？
②認知症ってどんな病気？③まわりの人を大切にしよう！
といった内容のお話をお聞きすることができました。今回の講座をきっかけに、「認知症」という病気を正しく知ることはもちろん、「人を助けることの大切さ」や「これから自分ができること、やってみたいこと」についても気付くことができた様子でした。

介護支援専門員の佐藤さんから、「認知症は、85歳以上だと4人に1人がかかる病気であるということ」や「認知症は頭（脳）の病気であること」、「具体的な症状としては、覚えていることが難しく、忘れてしまうこと（日にちや時間、場所、人）」を教えていただきました。さらに、「ゆっくりなら考えることができるし、使い慣れたものなら使えること」、「声を掛けてあげたり、誰かが一緒にしてあげたりすることで今まで通りにできること」といった認知症の方と接する上で大切なお話も…。改めて、まわりの人を気にかけて声かけたりすることの大切さについて知ることができた子どもたちです。

講座の最後には、子どもたちから講師の方々にたくさんの質問が出すことができました。（一部紹介します）

- 皆さんは、いつもどんな気持ちで仕事をされていますか？
⇒関わる人たちに「少しでも力になりたい」「安心してもらいたい」という気持ちで仕事をしています。
- 認知症は、お年寄りだけの病気ですか？
⇒まれではありますが、若い人でもなることがあります。
- 私たちもボランティアをすることができますか？
⇒お話を聞いてくれることでうれしい気持ちになります。ぜひボランティアに取り組んでほしいです。

